

総

ゲスト

町村信

外務 務

対談当時（一九九九年七月十四日）

中と外から

どう
もっと有効に発揮できるのか。
町村信孝外務 務 （前文部大臣）をお迎え
東大、そして教 授

みつめる

連貫

蓮實 いま外務政務次官としていろいろな会議に出ているが、次官という呼び方は英語ではバイス・ミニスターですか。

町村 最近を変えまして、バイス・ミニスターは事務次官で、政務次官はステイツ・セクレタリーと訳します。ちょっと妙な英語ですけど、ステイツ・セクレタリー・フォー・フォーリン・アフェアーズという言い方になっています。

蓮實 私はバイス・ミニスターとかがついていたのですが、町村次官は、日本で初めてバイス・ミニスターの名にふさわしい活躍をしておられるとかがいました。ずいぶんいろいろ会議にお出になるわけでしょう。

町村 そうですね。この七月上旬に、国連事務総長が主催するコンボ問題の関係外務大臣会合に出て、事務総長が冒頭発言した後、真つ先に手をあげて発言したので、代理のくせに大きな顔をしているという顔をされました。その後、人口と開発に関する国連特別総会で七分だけ英語でスピーチをしてまいりましたが、国連本部のあの会議場で演説するのは気分がいいですね（笑）。

私どももいろいろな外国の会議に行きまして、あいさつその他を英語、フランス語等でやらせていただくわけですが、私は英語は映画だけで覚えたのです。六五年までのアメリカ映画は、悪い言葉を使つてはいけないことになっていましたので、八〇パーセントはわかりました。それ以後はスラングも使つていいということになりましたが、私は幸いなことにアメリカ映画を五、六、六十年代に見ておりました。

私は高校のときに英語をやめてフランス語を習い、入試もフランス語で受けたんですが、それも英語で話をする時贈、ゼン、英語でんですが、

Q & Aを英語

でやっただけです。質問がおもしろいんですね。非常にストレートですし、しかもアメリカ人ばかりではなくて、留学中の韓国人とかフランス人からまったく予想外の質問が飛んできたりして、往生しましたけれど、たいへんおもしろかったです。

もう一つ感心したのは、その前に三日間、アジアとアメリカの人が一、名ほど集まって議論する、アジア太平洋フォーラムに出たときのことです。それはスタンフォード大学が主催しています。後でスタンフォードの先生に、どういう目的かと聞くと、そこでの議論以上に、アジアの人たちにアメリカに関心をもってもらう、よく知ってもらう、言うならばアメリカのPRの国策協力みたいなことを言っておられたので、偉いものだと

た葉す

ときに議し、す五年語に

錫傳、いまだ

Ucal、士ん

嚮、杭

六五れでをた

に語

はわか議にす、錫、す五年